

那覇国際高等学校

学校だより 第16号



イルミネーション点灯！



PTA主催による「イルミネーション点灯式」が12月4日、本校正門広場にて実施されました。放課後遅くまで部活動や勉強頑張っている生徒への応援、1月の大学入学共通テストを受験する3年生への応援、生徒の冬の思い出の1つになってほしい等を目的に12月4日から12月24日までの期間、午後5時から6時45分までの時間帯に点灯されます。

キングス・アシスタントコーチ

与那嶺翼氏講演会！



11月18日、1・2年生を対象とした「進路講演会」が実施されました。琉球ゴールデン・キングス元プレイヤーであり、現在はキングスのアシスタントコーチである与那嶺翼氏を講師に迎えての講演会でした。「なぜ、進路講演会を快諾したのか」、「キャリア貯金による捉え方、考え方」、「選択を正解にする思考、行動」、「継続することの大切さ」について、語っていただき、生徒たちにとって夢を追うことの大切さを再確認するとともに、様々な場面で選択し道を選び取っていく、進路をデザインしていくという観点で自分自身の将来を考える機会となりました。

防災訓練実施！



避難後の全体集会

グラウンドへの避難の様子



「防災（通報・消化・避難・避難所開設）訓練」が11月6日に実施されました。最初に、地震が発生し、その後、火災発生場所を調理実習室と仮定しての身の安全の確保、避難経路の確認、教室からグラウンドまでの避難を実施しました。今回、初めて体育館前に避難所を開設しました。訓練を通して、人命尊重の精神及び防災についての意識の高揚を図る機会となりました。

今後の行事予定

- 12月 9日(火) 3学年集会
2学年(総:国内研修について)
1学年(総:テーマ発表会)
- 10日(水) 2学年集会
- 11日(木) 1学年集会(エンカレッジ報告)
- 12日(金) 文系フィールドワーク(1年生)
3学期HR役員選出(3年生)
学年レク(2年生)
- 19日(金) 学級PTA・三者面談
クリスマスライブ(1・2年午後)
- 21日(日) 新都心美化清掃活動(希望者)
- 22日(月) 国内研修出発前説明会(保護者)
- 25日(木) 終業式 年末大清掃

性・エイズ講話



「性・エイズ講話」が11月21日に実施されました。「あなたの体は、あなたが決めていい～あなたのライフプランニング～」と題して、助産師の古澤さや夏氏を講師に迎えての講演でした。性に関する問題の一つである性感染症としてのエイズの社会的背景や課題についても考える機会となりました。

標語 県知事賞受賞！



久保田莉子さん (2年1組)

まさか自分の標語が選ばれるとは思ってもなく県知事賞受賞を知った時はとても嬉しかったです。今後も様々なことに積極的にチャレンジしたいと思います。また、学校の勉学にも一生懸命に取り組み、志望大学に進学できるように頑張っていきたいと思います。

「守り育てよう 美ら島の子」を大会テーマに「第46回沖縄県青少年育成大会」の表彰式が11月19日、開催されました。標語の部において、本校の久保田莉子さん(2年1組)が「たちどまり 未来のための選択を」の標語で、見事、「沖縄県知事賞」を受賞しました。

名言・名句

Winning the World Series was the most wonderful thing for me this season, and as a final wrap-up, to get the season MVP is very meaningful.



ワールドシリーズで勝ったのが一番自分の中で素晴らしい出来事だったと思いますし、最後の締めくくりとしてシーズンMVPをとれたというのは非常に大きなこと。

【解説】

これは11月13日に発表された米国大リーグで3年連続、歴代単独2位となる4度目の最優秀賞(MVP)を受賞したドジャースの大谷翔平選手がインタビューで述べた言葉である。

GOOD! 合格体験記 15 (法政大学・文学部・日本文学科 指定校推薦)

(1)この大学(学科)を選んだ理由

私が法政大学文学部を選んだ理由は、図書館司書になりたいという夢があったからです。法政の文学部では、図書館司書になるためのプログラムが設置されていたり、図書館実習が多かったりなど様々なサポートが充実していることから志望しました。さらに、少人数制の授業が設けられていることから教授や生徒達との距離が近いので、大人数でグループワークをすることが苦手な人でも積極的に授業に参加できることが魅力的だと感じました。

(2)面接について

私は、校内で指定校推薦をいただいた後から面接練習を始めました。本当なら面接で聞かれたことや会場がどんな雰囲気だったかなど過去の那覇国の先輩方がまとめてくれたデータがあるはずなのですが、私の場合は過去に法政大学文学部を指定校で受験した先輩方がいなかったため、Yahoo知恵袋や他大学の文学部で聞かれた質問を調べて対策しました。自分の長所や短所はもちろん、高校で頑張ったことから大学で学びたいことまで、どんな質問がきても答えられるような準備をしたり、昼休みに友達や先生と面接練習をしたりしました。このように様々な対策をしていたのですが、実際に面接で聞かれたことは、①志望理由②将来の夢についての深掘り(具体的な意見を求められた)③面接官(教授)に質問する。の3つだけでした。緊張しましたが、面接官が話している時や他の志願者が話している時、自分が話している時は基本的に笑顔で受け答えしました。一緒に面接した他の志願者2人が男性だったということもあり、私がずっとニコニコしていたら面接官もフレンドリーな対応をしてくれたので話が弾みました。

(3)指定校を目指したい人への勉強アドバイス

指定校はその大学に絶対入学したいという強い意志と内申があれば受験できます。そのためには1、2年の時の生活態度や内申がとても大事になってきます。那覇国はテストが多くて大変だと思いますが、日々のテストや提出物をコツコツ頑張れば絶対内申は取れるので、指定校を少しでも考えている人はテスト期間だけでも頑張ってみることをオススメします。また、確実に指定校を取りたい人は英検2級以上の資格やボランティアなどの実績があるとさらに良いです。大学によっては英検2級以上を取得していないと受験できないことがあるので英検は絶対取るべきだと思います。

(4)先輩へのアドバイス

私が一番やって良かったと思うのは、大学に入学した先輩方から受験や大学の話を聞くということです。部活の先輩や同じ中学校だった先輩、自分の友達の先輩、誰でも良いので、遠慮せず那覇国卒業した先輩に聞いてみてください。そうすることで自分のやりたいことへの視野が広がったり、勉強方法を参考にできたり、自分にとってプラスになることを多く得られます。大学合格に向けて勉強も大事ですが、それと同じくらい情報を集めることも大切なのでぜひ話を聞いてみると良いと思います！

本校25期生(令和7年3月卒業) 女性